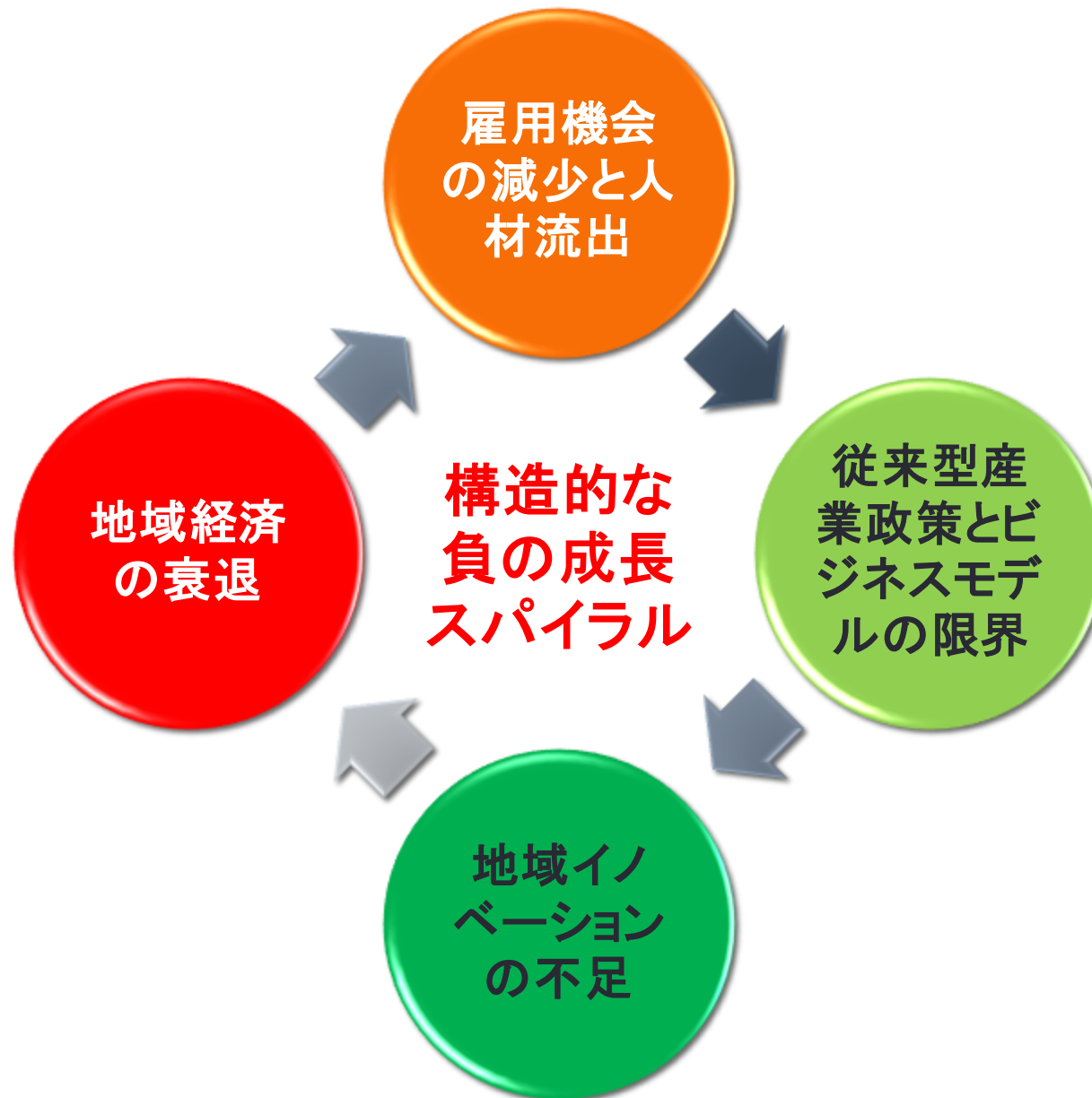
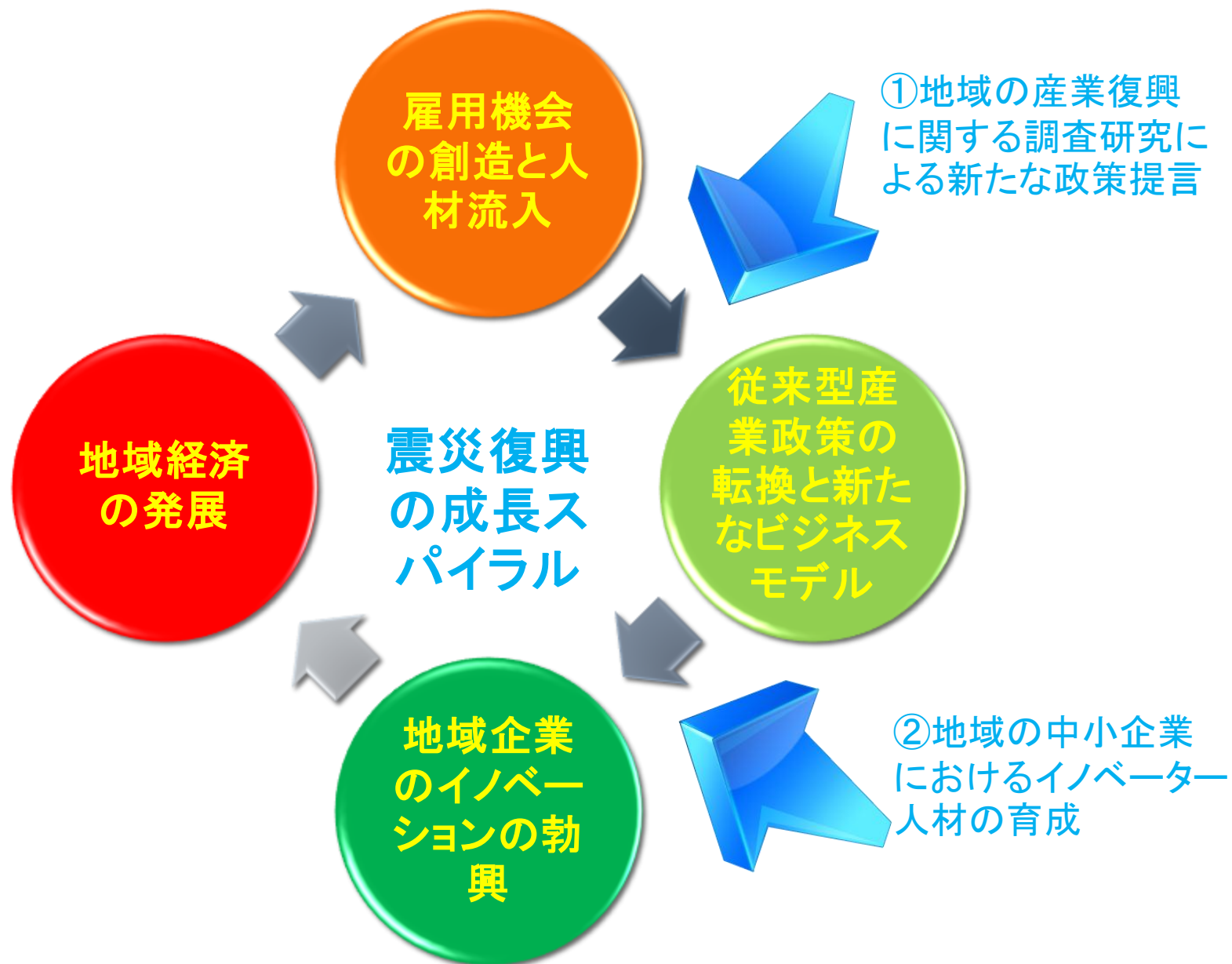
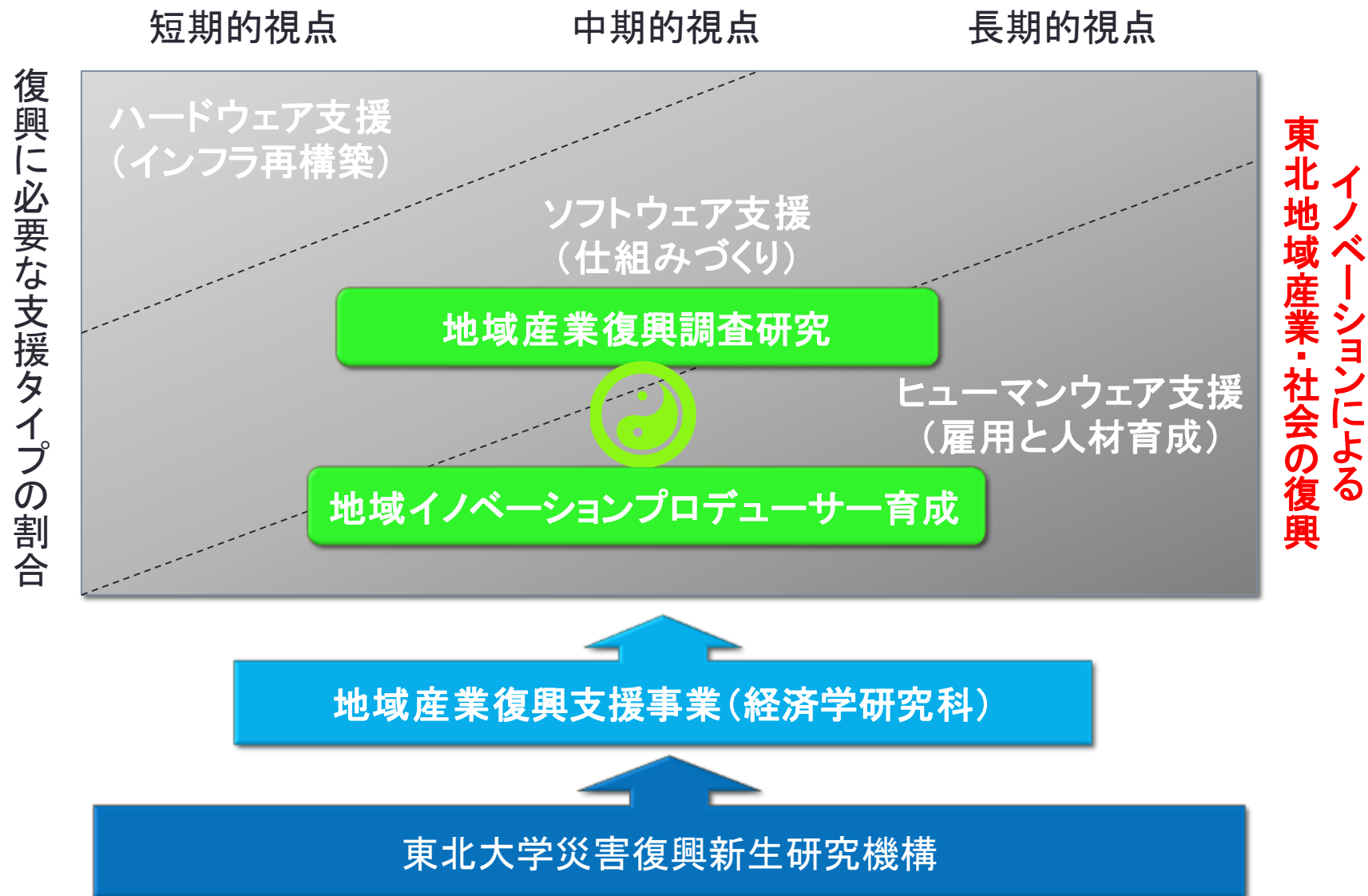


地域産業復興支援プロジェクト

東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター
藤本雅彦







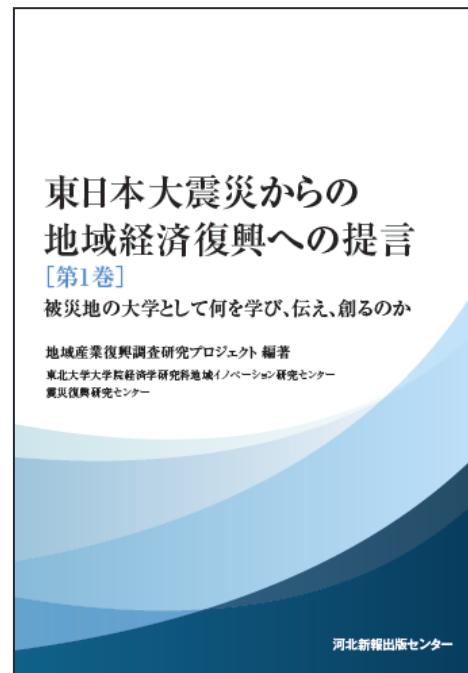
地域間連携を必要とする東北地域に特有の自動車および食産業、流通業、観光などを重点的に実施
 ※参加者の所属機関(大学、官公庁・経済団体、民間企業):構成メンバー約70名



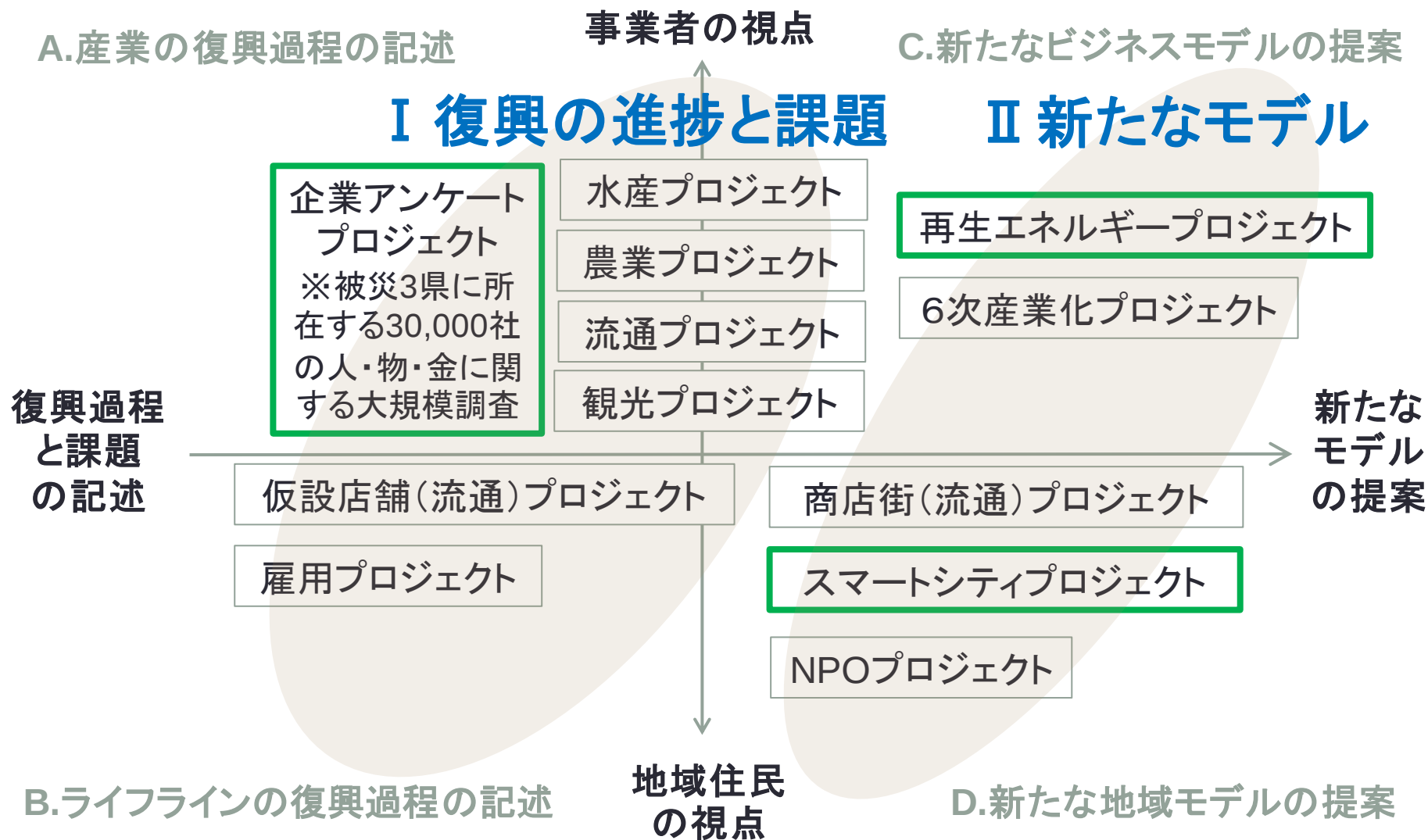
■「地域発イノベーション事例調査研究プロジェクト」
 (東北活性化研究センターとの共同プロジェクト)

(株)舞台ファーム
 (有)伊豆沼農産
 (株)ジェイファーム
 山本電機(株)
 東洋システム(株)
 (株)ハニーズ

(株)Don Don UP
 (株)ウジエスーパー
 エム・エム・アイグループ
 (株)小島洋酒店
 (株)清月記



2012年3月発刊



■ 「地域発イノベーション事例調査研究プロジェクト」(東北活性化研究センターとの共同プロジェクト)
 農業生産法人有限会社ヒーロー、カーブドッチワイナリー、岩鑄、インスペック、モビーディック、南部美人(旧 久慈酒造)、NEC米沢、ビックママ、地吹雪体験ツアー、ピー・ソフトハウス、特定非営利活動法人「グリーンシティ」

事業革新支援のあり方プロジェクト

A. 産業の復興過程の記述

事業者の視点

C. 新たなビジネスモデルの提案

I 福島と津波被災地の復興の進捗と課題

II 新たな地域産業社会のモデル

復興過程と課題の記述

企業アンケートプロジェクト
※被災3県企業の継続的なパネル調査

地域金融プロジェクト

地域雇用プロジェクト

水産加工業プロジェクト

農業プロジェクト

流通業プロジェクト

観光業プロジェクト

製造業プロジェクト

土木建設業プロジェクト

NPOプロジェクト

地域発イノベーション事例調査プロジェクト

先進農業と6次産業化
食品マーケティング
プロジェクト

再生可能エネルギー産業
プロジェクト

スマートシティプロジェクト

環境未来都市構想
(東松島市)プロジェクト

新たなモデルの提案

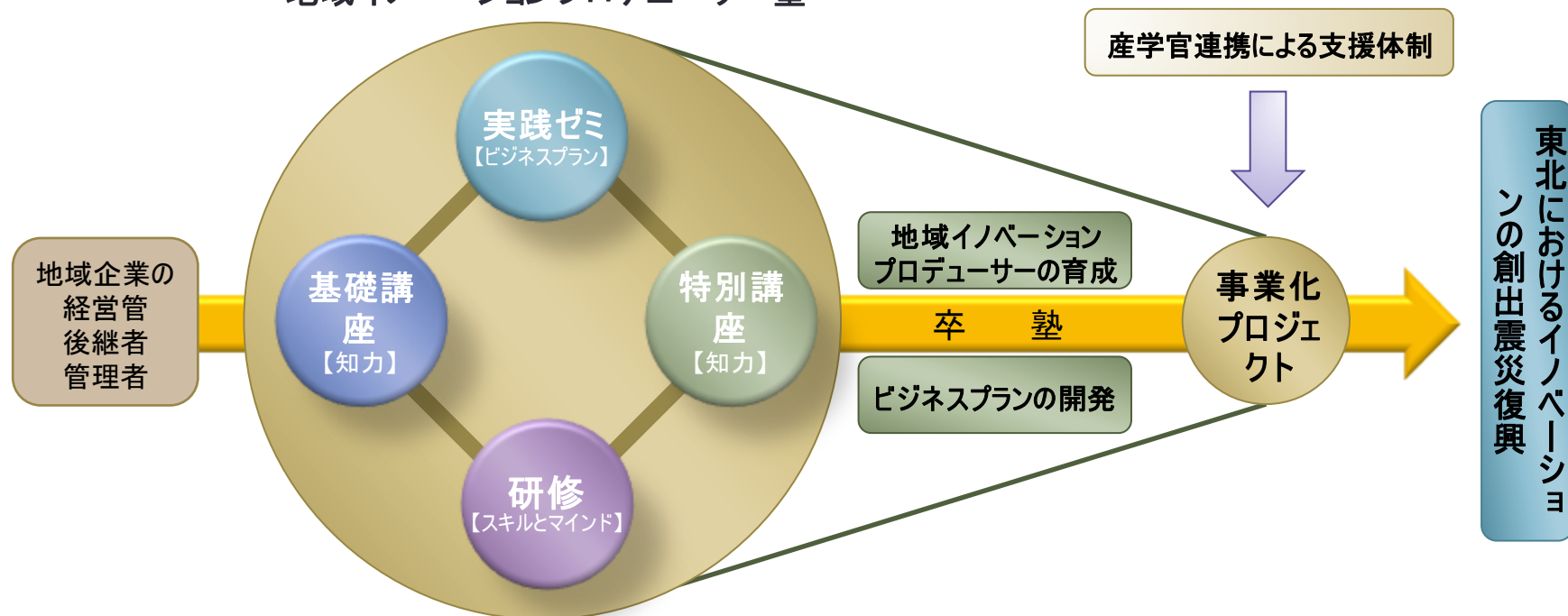
B. ライフラインの復興過程の記述

地域住民の視点

D. 新たな地域モデルの提案

復興支援(財政支出)の検証プロジェクト

地域イノベーションプロデューサー塾



区 分	目 的	開 催	主な学習方法等(講師陣)
基礎講座	【知力】 ビジネス・デザインとマネジメントに関する基礎知識の学習(基礎講座カリキュラムに基づく)	毎週火曜日 18:30～21:00	講義、討論、事例 (経済学研究科教員、外部講師)
特別講座	【知力】(特別テーマ学習) 特別に設定したテーマについての知識の学習 (事例研究、地域、海外市場、知財、ブランド戦略等)	土曜日午前 (隔週)	講義、セミナー (テーマ別の外部講師)
研 修	【技法】【マインド】 問題解決やイノベーションをリードするためのスキルとマインドの習得	土曜日午前 (4～5回)	ロールプレイングや行動変革などの研修トレーニング (外部研修機関のトレーナー)
実践ゼミ	【ビジネスプラン】 ビジネスプランづくりの指導と能力向上	土曜日午後 (隔週)	事業開発の専門家による指導 (将来的には)卒塾者との交流の場





入塾式(2012年5月26日)



卒塾式(2013年2月23日)



事業計画発表会(2013年2月23日)



卒塾式(2013年2月23日)

	内容
募集定員	・ 仙台(30名) ・ 気仙沼サテライト(5名) ・ 花巻サテライト(5名) ・ 会津サテライト(5名)
応募形態	・ 推薦応募(仙台・各サテライト) ・ 紹介応募(仙台・各サテライト) ・ 一般応募(仙台)
応募期間	① 4月～5月(推薦・紹介応募) ② 6月(一般応募)
入塾料	10万円
授業期間	9月～翌年2月(半年間) ・毎週火曜日18:30～21:00 ・隔週土曜日10:00～17:00
卒塾要件	実行可能な新たなビジネスプランの策定など
事業支援	卒塾後数年間 ・担当コーディネータによる指導 ・卒塾者の定例ネットワーキング

被災3県へのサテライトの拡大

